

統合報告書2026の発行に当たって

太陽誘電の統合報告書は、経済価値と社会価値の両輪で企業価値向上を目指す当社グループの価値創造活動についてご説明するものです。

当社では今年度から「中期経営計画2030」がスタートしました。本報告書では、太陽誘電が実現したい未来・ありたい姿として掲げた「サステナブル・ウェルビーイング」の考え方や、中期経営計画2030において策定した目標と、その達成に向けた具体的な戦略・施策をお伝えします。また、AIサーバーをはじめとするAI関連市場の成長に伴う需要の見通しと当社の競争優位性、人材戦略の中核として位置付けた「HRウェルビー

イング」についても詳しくご紹介しています。

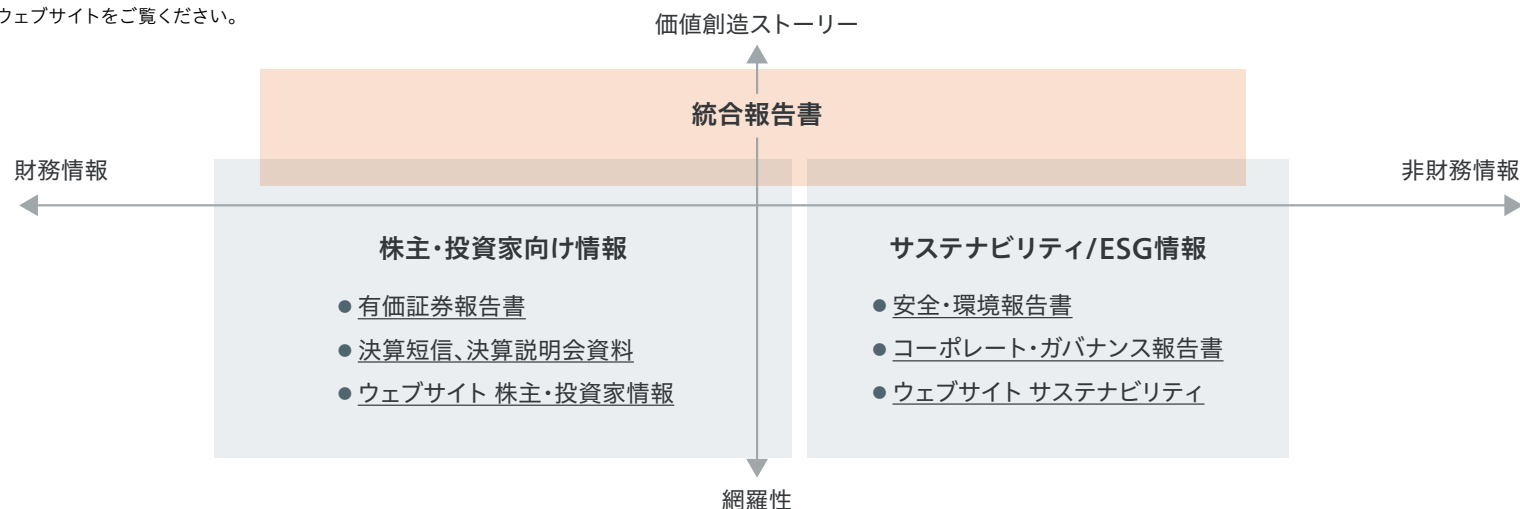
報告書の作成に当たっては、ステークホルダーの皆様との対話を通じていただいたご意見を踏まえ、経営層および執行の各部門が連携して適切なプロセスで作成しています。本報告書が太陽誘電グループへの理解を深める一助となれば幸いです。

今後もステークホルダーの皆様との対話を大切にし、情報開示の充実と透明性の向上に努めてまいります。

2026年10月
取締役専務執行役員
福田 智光

情報開示体系

太陽誘電の財務・非財務に関する詳しい情報については、太陽誘電ウェブサイトをご覧ください。



報告対象範囲

本報告書は、太陽誘電株式会社とその子会社29社を合わせた30社(2026年3月31日時点)を対象としています。

参考ガイドライン

編集においては、IFRS財団が推奨する「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にしています。ESG情報に関しては、環境省の「環境報告

ガイドライン(2018年版)」を参考にしています。また参照ガイドラインとしてGRIスタンダードを利用しています。

